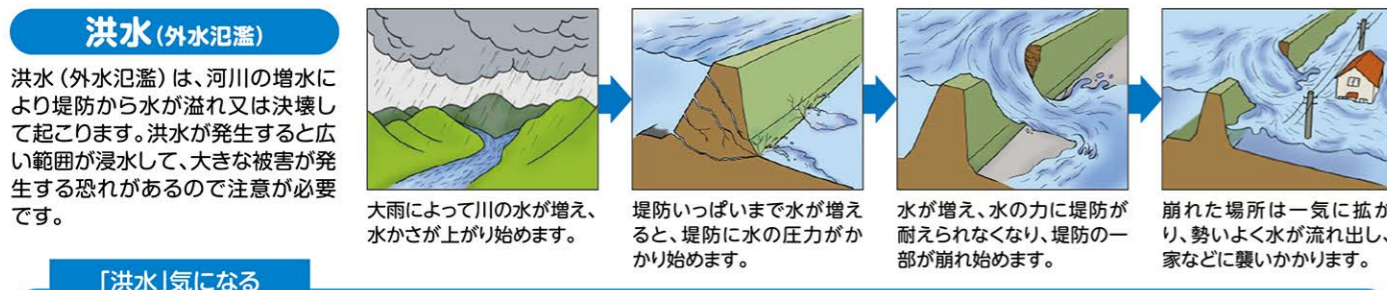


# 避難情報発令の目安 芦屋川の水位



# 洪水発生仕組み



### 「洪水」気になるQ&A

**Q** この前の大雨のときにマンホールから水があふれて浸水が起こっていたよ！洪水ってこんなに頻りに発生しているの？

**A** 降った雨が排水処理できずに、下水道や水路から水があふれて起こる浸水は内水氾濫です。洪水(外水氾濫)と比べて、浸水規模は小さいですが、いたるところで発生しやすい特徴があります。

※内水氾濫について、詳細は市下水道課(TEL.0797-38-2064)まで

**Q** 平成30年台風第21号での宮川からの浸水の原因はなに？

**A** 高潮・高波によるものです。台風を原因として発生する高潮は、沿岸部だけでなく、川を遡上して浸水を起こす場合があります。

※高潮については、令和元年度発行の高潮防災情報マップをご確認ください。

# 大雨を知る

### 雨の強さと降り方

1時間雨量	10~20ミリ やや強い雨	20~30ミリ 強い雨	30~50ミリ 激しい雨	50~80ミリ 非常に激しい雨	80ミリ 猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる		
災害発生状況	長く続く時は注意が必要。	側溝や小さな川があふれる場合がある。	崖崩れが起きやすくなり土砂災害の危険区域では避難の準備が必要。	土石流が起こりやすく、多くの災害が発生するおそれがあり、警戒が必要。	雨による大規模な災害の発生するおそれがあり、警戒が必要。

集中豪雨の危険を知っておこう

短時間で危険な水位になる

地下街や半地下住宅は危険

下水の排水能力を超える大雨

地下・機械式駐車場は水が一気に流れ込む



# アンダーパスに注意!

大雨や洪水でアンダーパス(立体交差で、掘下り式の下になっている道路)においては水が溜まりやすく大変危険です。冠水時には、水深も水の中の様子もわかりません。普段から地域のアンダーパスの場所を把握し、大雨時には進入しないようにしましょう。

### 冠水時に進入すると

水深 30cm	水深 50cm	水深 1m
車が動かなくなります	ドアが開かなくなります	車が浮いて流されます
マフラーから水が入るとエンジンが停止して、立ち往生してしまいます。	水圧でドアを開けることができなくなり、車内に閉じ込められてしまいます。	車体が浮いて流されてしまします。避難路がふさがれ、避難に支障をきたします。

冠水表示板

市内アンダーパスの数か所には、冠水表示板があり、水位の上昇に合わせて、注意喚起や通行止めといった情報が表示されます。

※詳細は市道路・公園課(TEL.0797-38-2062)まで

# 浸水継続時間に注意!

浸水継続時間とは、浸水深が0.5mを最初に上回ってから、最終的に下回るまでの時間を指します。浸水深0.5mとは、歩行が困難となり屋外への避難ができず、孤立する可能性がある浸水の深さ

浸水継続時間が長い区域では、ライフライン(電気・ガス・水道)の復旧に時間がかかり、生活が困難になる可能性があります。そのため、在宅避難や屋内で安全確保をする場合には、備蓄などの備えが重要となります。河川ごとの浸水継続時間は、市ホームページで確認できます。

市ホームページ  
https://www.city.ashiya.lg.jp/bousai/map.html

# 在宅避難のポイント

**断水が発生! トイレどうしよう...**  
断水や停電によりトイレが使用できなくなった時のために、1日5回×1週間×家族の人数を目安に、簡易トイレを用意しておきましょう。

**停電だ! どうしよう...**  
懐中電灯や乾電池、携帯ラジオ、モバイルバッテリーなどを備蓄しておきましょう。特に、停電時はテレビからの情報収集ができません。停電時でも情報を得られるように備えましょう。また、冷蔵庫の中を確認して、生鮮食品など、傷みやすい物から食べるようにしましょう。

**ガスも電気も止まって料理ができない! どうしよう...**  
カセットコンロやガスボンベを備蓄しておきましょう。調理だけでなく、お湯を沸かすのにも利用できます。例えば、湯たんぽなどを用いて、真冬は暖をとることが出来ます。また、缶詰や防災カレーなど調理の必要がなく、そのまま食べられる食料なども備蓄しておきましょう。

# 安心な在宅避難のために必要な備蓄品(例)

飲料水や食料はできれば1人1週間分、最低でも3日分は備蓄しておきましょう。飲料水は1人1日3ℓを目安に!

断水に備えて、衛生環境を保つ物品を用意しておきましょう。また、お風呂やシャワーが使えない場合もあるので、ドライシャンプーやクレンジングシート、赤ちゃん用のおしり拭きシートなどがあると便利です。

節水料理や節水家事に便利なラップ、ポリ袋、使い捨て食器を備えておきましょう。ポリ袋は調理、ゴミ袋、手袋の代わりとしても活用できます。

# 水害に備えて

### 非常持ち出し品の準備

避難後すぐ必要になるものを、すぐに持ち出せるようにリュックなどにまとめておきましょう。(成人男性で15kg、成人女性で10kgを目安に)

感染症対策物品も備えておきましょう!

<input type="checkbox"/> 水(飲料水)	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 備蓄食糧(レトルト食品など)	<input type="checkbox"/> 懐中電灯・乾電池	<input type="checkbox"/> 体温計
<input type="checkbox"/> 現金(小銭を含む)	<input type="checkbox"/> 携帯充電器・モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> 消毒液
<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> 身分証明書	<input type="checkbox"/> 防寒具・雨具	<input type="checkbox"/> 上履き・スリッパ
<input type="checkbox"/> 通帳・印鑑	<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> ハンドソープ・せっけん
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> ビニール袋

※その他、常備薬やお薬手帳、生理用品、赤ちゃん用品など各家庭で必要と思われる物を準備しましょう。

### 家庭でできる浸水対策

身近にある材料で水を防ぐ方法を知らないと役に立ちます。日頃から準備しておきましょう。

ゴミ袋による簡易水のう

簡易水のうと段ボール箱

プリンターとレジャーシート

止水板

### 避難時の心得

避難の際には次のことに注意しましょう。

- 1 動きやすく安全な服装で**  
ヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、靴はひもで締められる運動靴を。裸足・長靴は厳禁です。
- 2 単独行動はしない**  
避難するときは2人以上で。はぐれないように、ロープで結んで避難しましょう。
- 3 子どもや高齢者に配慮する**  
高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き袋を着せて、安全を確認しましょう。
- 4 足もとに注意する**  
水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所が、長い棒をつえ代わりになって、確認しながら歩きましょう。
- 5 深さに注意**  
歩行可能な水深の目安は約50センチですが、流れが速いときは20センチでも危険。危ないと判断したら無理をしないで、高い場所で救助を待つ。

# 洪水時の情報入手について

災害発生時に市ホームページ、あしや防災ネット、防災行政無線など、さまざまな広報手段により防災に関する情報が発信されています。自ら情報を取りに行きましょう!!

**防災行政無線(屋外拡声スピーカー)**  
屋内にいる人へ向けた防災情報ツールです。災害が発生した際に避難の呼びかけなどの情報を聴くことができます。放送内容が聞き取れなかった場合等は、自動応答電話(☎0180-99-7787)(通話料有料)でもう一度聴くことができます。

**携帯・スマホでは**

- あしや防災ネット: 登録したアドレスにメールで届く、防災情報を確認できます。
- エリアメール・緊急速報メール: 携帯電話・スマートフォンに専用の警告音と共にポップアップで災害・避難情報などが表示されます。
- SNS: FacebookとTwitterで防災情報を確認できます。Facebook検索: 芦屋市防災情報 @ashiyashi\_bosai

**テレビ**  
リモコンを活用して、災害時の情報を確認できます。

**市ホームページ**  
災害時にトップページから情報を確認できます。  
https://www.city.ashiya.lg.jp

**屋内では**

**緊急告知ラジオ**  
防災行政無線の放送を聴くことができます。電源を切っても、緊急時には自動的に起動し、最大音量で放送されます。通常のラジオとしても利用できます。購入補助制度があります。

# 増水警報システム

大雨・洪水注意報・警報の発表と連動して回転灯(黄色に点灯)を作動し、解除されるまで点灯します。(音声による警告はありません)

芦屋川の開瀬橋から下流12箇所に兵庫県が設置しています。

回転灯が作動している間は河川敷に立ち入りないようにしましょう

# その他参考にできる情報

**気象庁ホームページ**  
http://www.jma.go.jp/jp/yoho/

**川の防災情報ホームページ**  
https://www.river.go.jp/portal/

**阪急電鉄運行情報**  
https://www.hankyu.co.jp/railinfo/

**JR西日本運行情報**  
https://trafficinfo.westjr.co.jp/sp/list.html

**阪神電鉄運行情報**  
http://www.hanshin.co.jp/railinfo/m/

**阪急バス運行情報**  
https://www.hankyubus.co.jp/unkou-info/#u-route

**関西電力停電情報**  
https://www.kansai-td.co.jp/teiden-info/index.php

**大阪ガス提供停止状況**  
https://www.osakagas.co.jp/area-exhibition/